

- 1 単元名 ふるさとの魅力を伝えよう
～We can!2 Unit 4 [I like my town.]～

2 単元の指導目標

- 伝える相手の反応を確認するなど、相手に配慮しながら地域の良さや課題について伝え合おうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 施設の言い方、地域にどのような施設が欲しいのかを紹介する表現を聞いたり言ったりする。
また、地域の良さや地域に対する願いについて、読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。
(外国語への慣れ親しみ)
- 日本語と英語の施設や建物の名称の違いや自分たちの地域の良さに気付く。
(言語や文化に関する気付き)

3 単元の評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・伝える相手に配慮しながら、地域の良さや課題について伝え合おうとしている。

【外国語への慣れ親しみ】

- ・施設の言い方、地域にどのような施設が欲しいのかを紹介する表現を聞いたり言ったり、地域の良さや願いについて読んだり書いたりしている。

【言語や文化に関する気付き】

- ・日本語と英語の施設や建物の名称の違いや、改めて自分たちの地域の良さに気付いている。

4 基盤

- 児童観 〈個人情報保護のため省略〉

- 教材観

本単元は大田市にある施設とそこでできること、これからあるとよいと思う施設について自分の考えを伝え合う。児童はふるさとの魅力について分かりやすく紹介するという課題に向き合うことで、必然的に総合的な学習の時間で学んだ銀山学習との関連に気付くことであろう。大田市にあるものをただ紹介するのではなく、魅力を伝えるという目的に向かい、どうすればよりよく伝えることができるか、児童が思考する姿を期待できる題材である。同時に地域の魅力について考え、紹介する活動を通じて地域への愛着を深めてほしいと願う。

単元の言語活動の一つとして書く活動を行う。毎時間、音声中心で慣れ親しんだ表現を少しずつ書き写すことを行い、最後に自分の考えや思いを表現するためにまとまりのある文章を、例文を参考にして書く。

- 指導観

単元のゴールは、松江市の6年生に大田市の魅力を伝えることである。動画メッセージとして伝えるのであるが、相手の反応を知ることができない。そこで、前時にALTとクラスの友だちに、「自分の考える大田市の魅力」を伝えるコミュニケーション活動を設定する。繰り返し相手を変えながら伝える活動を行うことで、相手に分かりやすく伝えるための工夫を児童自身が見付けることができるであろう。この経験を生かし、遠く離れた相手にどのように伝えとよいか、相手意識のある伝え方を工夫する児童の姿が期待できる。どのように伝えるか、何を伝えるか自ら思考する必然性のある学習展開を心がけたい。

また、上手な話し手を育てるのは聞き手である。そのことに児童自身が気付くことができるよう、意図的に気付きを引き出す状況をつくり出していきたいと考える。そのためには、相手の話す内容に対して質問をする姿、相手の話す内容に対して反応する姿を価値付け、質問によって話す内容が変わっていくことを体験し、全体での共有を図りたい。自分の考えに対して、きちんと反応が返ってくるというのはとてもうれしいことである。このような経験を重ね、一人一人が言葉を通して自分が大切にされているという思いを感じてほしいとも願う。

第1時では、ALT のふるさとの魅力についての話を聞くとともに、単元のゴールについてのイメージをもつ。

第2時では、自分たちの住む地域にどんな施設があるか、また、どんな施設があるとよいと思うかをゲーム的な活動を通して、繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親しむ。最後に地域にある施設についての文を書き写す。

第3時では、デジタル教材を視聴することを通して、地域の良さとそう考える理由をどのように伝えるのかを知る。そしてペアで大田市の良さについて自分の考えとその理由を伝え合う活動で使いながら慣れ親しみ、最後に地域にない施設についての文を書き写す。

第4時では、前時から引き続き地域にあってほしいと思う施設とその理由について聞いたり言ったりする。相手を変えて繰り返し行うことで、地域にある施設やない施設を伝える表現に慣れ親しませたい。

第5時は、ふるさとの魅力を分かりやすく伝えるための工夫に気付かせる。デジタル教材の動画を視聴する際には、紹介の仕方、どのような感想を伝えていたかに視点を絞り視聴する。そしてこの時間も実際にペアで大田市に欲しい施設について話し合うことで使いながら慣れ親しませたい。

第6時では、前時に視聴した動画を再度視聴し、紹介の仕方と感想の伝え方のイメージを共有する。そして、これまで書き溜めてきたワークシートの例文を参考に紹介文を書く。

本時となる第7時は、写真などを使い発表し合う。聞き手からの感想や質問を生かして相手に良く伝わるよう表現を付け加えていくようにさせたい。そのために相手を変え繰り返し紹介させる。児童同士の交流の後には、参観者の先生方へ紹介し、感想をもらうことで自分の表現が変わっていったことを実感できるようにしたい。

第8時では、松江市の6年生へ送る動画を撮影する。詳しく伝えるために、前時に付け加えた表現を入れて伝えるようにする。

5 言語材料・表現

○表現

We have / don' t have (a park).

We can (see many flowers).

We can enjoy [fishing / shopping / swimming].

I want a [library / park].

(Oda) is nice.

○語彙

Town, nature, nest

施設・建物(amusement park, aquarium, swimming pool, stadium, roller coaster, Ferris wheel)

動作(fishing, dancing, jogging, playing, reading, shopping, singing, walking)

6 単元指導計画と評価計画（8時間）

時	目標（◆）と主な活動（【】、○）	評価の重点			評価の観点<方法>	
		関	慣	気	評価規準	評価方法
1	◆世界には様々な特色のなる地域があり、自分たちの住む大田市との共通点や相違点に違いに気付く。 ○HRTとALTの先生のふるさと紹介を聞こう。 【Let's Listen1】 p.26, 27 ・誌面にある6つの町についてやり取りをする。 【Let's Listen2】 p. 28 ・3人の話を聞いて、その地域にあるものを探し、誌面の表に○を記入する。 【Let's Play2】 p. 28 ・ポインティングゲームを行い、施設の名前を聞いたり言ったりする。			○	自分たちの住む大田市との共通点や相違点に違いに気付いている。	行動観察 振り返りカード分析
2	◆地域にある施設やない施設について聞いたり言ったりする。 【Let's Listen1】 p. 26, 27 ・6つの絵のうち、当てはまる2つを選び、誌面に番号を記入する。 ・誌面の町にあるものについての教師からの問いかけに、We have/ don't have (). の表現を使って答える。 ○カードオーダーゲーム ・指導者が言う施設名を聞き取り、言われた順にカードを並べる。 【Let's play1】 p. 26, 27 ・ペアになり、相手の選んだ町はどれかを当てる。 ○Let's Talk ・大田市にあるとよいと思う施設のカードを選び、相手が選んだカードを予想し、質問して当てる。 ・Do you have ()? - Yes, I do. / No, I don't. 【Let's Read and Write】 p. 32 ワークシート①に自分の町にあう施設を書き写す。			○	当てはまる施設を聞き取り、番号を記入している。	行動観察 記述分析 振り返りカード点検
					あるとよいと思う施設について聞いたり言ったりしている。	行動観察 振り返りカード点検
3	◆大田市の良さについて理由を付けて言ったり聞いたりする。 【Let's Listen3】 p. 29 ・地域の良さを表現する方法を理解する。 ○Let's Talk「大田市にあるものできること」 ・指導者のモデルや、指導者とのやりとりを参考に、ペアで地域の良さについて伝え合う。 【Let's chant】 I like my town. 【Let's Read and Write】			○	ある施設とそこでできることについて聞いたり言ったりしている。	行動観察 振り返りカード点検

	・音声を聞きながら読んだ後に、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。					
4	◆大田市にある施設とそこでできることについて、聞いたり言ったりする。 【Let' s Watch and Think1】 p.29 ・数回視聴し、どの児童も分かったという達成感が持てるよう、ポイントを絞って聞き取るようにする。 【Activity1】 p.31 ・Yuta の紹介例を聞く。 ・紹介例を参考に、自分の町にある施設とない施設について考え、ペアで発表し合う。 【Chant】 I like my town. 【Let' s Play3】 ポインティングゲーム ・個人～誌面にある絵を指さす。 ・ペア～選んだ施設と選んだ理由を言う練習をする。 ○Sound and Letters (m)		○		欲しい施設やある施設とそこでできることについて聞いたり言ったりしている。	行動観察 振り返りカード点検
5	◆大田市にあると良いと思うものをたずねたり、その理由を聞いたり言ったりする。 ○Small Talk: 大田市で好きな場所とその理由 【Let' s Watch and Think 2】 p.31 ・紹介の仕方のイメージをもつ。 ・感想発表の様子から、どのように感想を言うと良いのかというイメージをもたせる。 ○ペアインタビュー 「大田市に欲しい施設とその理由」 【Let' s Read and Write】 ・音声を聞きながら、読んだ後に、自分の町の名前、ワードボックスから言葉を選んで書く。		○		大田市にあると良いと思うものをたずねたり、その理由を伝え合ったりしている。	行動観察 記述分析 振り返りカード点検

6	◆松江市の 6 年生に大田市の紹介をするためにポスターを書く。 【Let' s Watch and Tnik2】 p.31 （2回目） ・前時に視聴した動画を再度見て、紹介と感想の言い方のイメージを確認する。 【Activity 2】 p・3 2 ・発表の準備をする。 ・前時にペアで話したことを踏まえて、ポスターを作成する。 ○Sound and Letters (n)		○		自分や第三者について、できることやできないことを紹介している。	行動観察 振り返りカード点検
7 本 時	◆自分の考える大田市の魅力が伝わるよう、紹介の仕方を工夫する。 【Let' s Chant】 I like my town. 【Activity】 p.32 ・作成したミニポスターを使って発表内容を確認したり、練習したりする。 ○ポスター発表 ・前後半に分かれて行い、お互いにアドバイスをし合う。 ・他のペアから学び、語句や絵を足してもよい。		○		伝える相手に配慮しながら、地域の良さや課題について伝え合おうとしている。	行動観察 振り返りカード点検
8	◆友だちの書いたポスターを読もう。 ○Small Talk: 大田市の好きなところ ○作ったミニポスターを読む。 ・前時に投票で選ばれたポスターから、町の良さと、何が欲しいのかを読み取る。 ・ミニポスターを交換し、感想を伝え合う。 ○紹介動画を撮影する。		○		友達の書いたポスターを推測しながら読もうとしている。	行動観察 振り返りカード点検

7 本時の展開(7/8)

○本時の目標

自分の考える大田市の魅力が伝わるよう紹介の仕方を工夫する。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

時間	○児童の活動、【】 主な活動	・指導者の活動、支援の内容 ◎評価〈方法〉	準備物
1	○あいさつをする。	・全体にあいさつをし、学習に向かう気持ちを高める。	
3	○Small Talk テーマ 「好きな教科は？」	What subject do you like? I like English. I see. How about you?	

4	・ミニポスターを見せながら、ペアでリハーサルを行う。 ・HRT のふるさとの紹介を聞き、紹介の流れを確認する。	1 回目 HRT: Mihonoseki is nice. We have (Miho shrine). We can see (Aoishidatami street). We have (delicious sea foods). We don' t have a park. Any comments please.	ポスター ミニホワイトボード
9	・ALT の質問を聞いて、付け加えられそうな内容を HRT と一緒に考える。 (反応例) ホワイトボードに書いて示すこともできそう。 It' s (). I like (). You can ().	ALT: Where? HRT: It' s here. (地図を示す) ALT: What' s Aoishidatami street? HRT: It' s beautiful. You can see green stone. ALT: Nice! Do you want a park? HRT: Yes, I do. ALT: Why? HRT: I like walking. ALT: Nice.	
4	○めあてを共有する 「相手によく伝わるように、友達の質問や感想を生かして文を付け足して紹介しよう」 ・先ほど ALT が使った質問の表現を振り返る。 Where? What' s ()? What () do you like? Why?	2 回目 (質問を生かして詳しく紹介) HRT: We have (Miho shrine). We can see (Aoishidatami street). <u>It' s beautiful.</u> <u>You can see green stone.</u> We have (delicious sea foods). We don' t have a park. <u>I want a park.</u> <u>I like playing with my son.</u> Any comments please.	

4	○やり取り S1:発表者、S2:聞き手 (1回目) S1: Hello. Oda city is nice. We have hot springs street. We can enjoy hot springs. Do you like hot springs?		ポスター
5	S2: Yes, I do. S1: Oh, nice. We don' t have a park. I want a park. Any comments please. S2: What hot spring do you like? S1: I like Motoyu. S2: Why? S1: It' s very hot. ・どの質問をしたか振り返る。	中間評価① ・どのような質問をされたか児童に尋ね、自分の表現に付け加えていく内容について考えられるようにする。 ・他にはどんな質問ができるかを考える。 What can you do? Do you want ()? Do you have ()? What else do you like?	
4	(2回目) S1:発表者、S3:聞き手 ○1 回目を受けた質問から、内容を付け加えて発表する。 S1: Hello. Oda city is nice. We have hot springs street. <u>I like Motoyu.</u> <u>It' s hot.</u> Do you like hot springs? S3: Yes, I do. S1: Oh, nice. We don' t have a park. I want a park. Any comments please. S3: What else do you like? S1: I like sunset. S3: Why? S1: It' s very beautiful. Do you like sunset? S3: Yes, I do.	中間評価② ・付け加えた内容について尋ねる。 ・表現が変わっていった児童を全体へ紹介する。 ・どんな内容を付け加えるとよいか困っている場合はペアで相談させる。 ◎相手に分かりやすく伝えるために、自分の表現や伝える内容を工夫している。【関意態】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	
6	(3回目) ○参観者の先生方に紹介する。	◎相手に分かりやすく伝えるために、自分の表現や伝える内容を工夫している。【関意態】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5	振り返り	・本時のめあてを再確認したうえで記入させる。	振り返りカード

本時の評価

十分に満足できる姿	おおむね満足できる姿	支援が必要な児童への手立て
相手の表情や反応などを確かめながら、分かりやすく伝えるために説明を付け加えるなど工夫して話している。	相手の表情や反応などを確かめながら、相手を意識して話している。	相手の反応を見て話すことを確認し、表現と一緒に確かめながら伝えられるよう支援する。